

# 大山恵みの里だより vol. 37

## 米子天満屋に出店中

恵みの里公社では、1月20日から3月31日までの期間、天満屋1階の食品売り場に長期催事として出店することとなりました。

特産の大山ピーナツ・こんにゃくを始め、大山町の生産者による手作りドレッシングやジャム、漬物、お茶、海産物などを所狭しと並べせて「道の駅米子出張所」として大山町の産品をPRしています。同時に「手づくり工房大山恵みの里」で製造したコロッケやメンチカツ、新商品の大山豚まんの実演販売も行っていきます。

お客さまは大山町産を強調した商品に安心とおいしさを感じてくださっている様子で「大山の食材なら安心」「こんなにやくがおいしかったからま



▲大山町産品をずらりと並べて

た買いに来た」「すきやきコロッケが子どもに大評判だった」「この豚まんはクセになる味だね」など嬉しい声をいただいています。また、「道の駅で買った商品がおいしかったから、ここでも扱って」とリクエストの声も届いており、大山町産品のファンが増えてきていることを感じています。

大雪の影響で、野菜の出荷量は減少していますが、野菜だけでなく加工品もおいしいものが揃っていることをアピールするチャンスととらえてがんばっています。米子へお出かけの際はぜひ、のぞいてみて下さい。

## 大山ツーリズム協議会の部会活動に参加しませんか？

「大山ツーリズム」って何？

という方が多いと思います。大山町には日本海・大山の豊かな自然、海の幸・山の幸などの豊富な食材、そして妻木晩田遺跡・門脇家住宅などの歴史資産、本場にたくさんの方の地域資源があります。その資源を生かした「体験型・滞在型・交流型」の「観光」をまとめて「大山ツーリズム」と名付けています。

現在「大山ツーリズム」を「一緒に取り組みたい！」「やってみたい！」という仲間を探しています。参加条件は「自分で何かやってみたい」という思いがあることだけ。誰でも参加いただけます。企画をしてみたい、実践してみたい、なんだか気になるという方など、たくさんの方のご参加をお待ちしております。



▲みんなで一緒に考えましょう

## 編集後記

2月6日、生涯学習大会で講師の森野熊八さんに手渡された花束はなんとブロッコリーとお花をアレンジしたブロッコリーブーケ。



ブロッコリーには房がたくさんあるので「子孫繁栄」を願って、結婚式や披露宴でブーケとして使われることが最近増えてきたそうです。このブーケ、新婦ではなく、新郎が独身男性に向かってトスするのだから。みなさんご存知でしたか？

(ひろ)

間を探しています。参加条件は「自分で何かやってみたい」という思いがあることだけ。誰でも参加いただけます。企画をしてみたい、実践してみたい、なんだか気になるという方など、たくさんの方のご参加をお待ちしております。

詳しくは、大山ツーリズム協議会事務局 役場観光商工課 (☎0859-531313)へお尋ねください。

## 私たちのまち (2月1日現在)

○人口：18,148人 (-25)  
 男：8,646人 (-11)  
 女：9,502人 (-14)  
 ○世帯数：5,843世帯 (0)



## 毎月10日はノーマジ袋デー



大山町広報3月号 No.90

◆発行：大山町役場  
 ◆編集：企画情報課

鳥取県西伯郡大山町御来屋328番地

TEL 0859-54-3111

FAX 0859-54-5216

大山町ホームページ <http://www.daisen.jp/>

◆印刷：有限会社米子プリント社



この印刷物は大豆インキを使用しております。

この広報紙は、環境に配慮した再生紙を使用しています。